



# 名古屋掖済会病院

## MISSION

- 患者の診療情報を院外のクリニックと共有するためのセキュアなリモートアクセス環境の構築
- 情報の閲覧、入力を行なった者を限定できる高度なセキュリティ
- 高いITスキルを求めない、扱いやすいシステムの構築

## SOLUTION

- IP-VPNから環境に依存しないSSL VPNへ移行し、セキュリティを確保しつつ利便性を向上
- ペンティオのUSBトークンを併用することで利用者を特定
- クライアントレスなSSL VPNとPINコードだけでログインできるUSBトークンの組み合わせにより容易な操作を実現

## 地域クリニックとの病診連携を支える情報共有基盤 「エキサイネット」にFirePassとUSBトークンを導入 共有する情報の質、量とともに向上

地域中核病院として信頼を集める名古屋掖済会病院。救命救急センターを持ち、災害拠点病院、臨床研修指定病院にも指定されるなど、医療の進歩や地域安全の向上に取り組んでいる。中でも力を入れているのが、地域の病診連携だ。これは地域の中核病院と診療所が連携し、地域医療の最適化を図ろうというもの。この取り組みの中心となっているのが、オンラインでの情報共有だ。最高度に重要な個人情報とも言うべき医療情報を名古屋掖済会病院と地域のクリニックで共有するにあたり、独自の診療情報システム「エキサイネット」を構築、院外からのセキュアなアクセスルートとして選択したのはF5ネットワークス社のFirePassだった。



名古屋掖済会病院  
情報管理センター  
センター長  
奥村 幸光氏



名古屋掖済会病院  
情報管理センター  
主任  
加藤 三千代氏



名古屋掖済会病院  
情報管理部  
SA  
今井 摩弥仁氏

### 会社プロフィール

#### 名古屋掖済会病院

〒454-8502 愛知県名古屋市中川区松年町4-66  
Tel:052-652-7711 FAX:052-652-7783

URL:<http://www.nagoya-ekisaikaihosp.jp/>

昭和23年に日本海員掖済援護会埠頭診療所診療として開院、昭和26年に現在の名称である名古屋掖済会病院と改称、半世紀を越える歴史を持つ総合病院だ。えきさい(導き、たすける)の精神に基づき、地域の信頼関係の上に成り立つ、安心して安全な医療をめざすと理念にうたう通り、病院単体ではなく地域全体の医療環境の向上を目指して努力を続けている。次世代を育てる研修や地域の病診連携への取り組みも、そうした精神の表れと言える。

# FirePassとPentio PKI USB Tokenの 連携でセキュリティを向上させ より広い情報開示と双方向での情報共有を実現

## 地域の中核病院として80以上の クリニックを結び病診連携を推進

名古屋南西部の中核病院として名古屋掖済会病院が力を入れている病診連携。風邪や症状の軽い疾患は身近なクリニックで診察、治療を受け、慢性疾患や重篤な症状の患者を地域中核病院が受け入れるというもの。それぞれの特性を生かして分担することで医療システムを地域単位で最適化し、医療費の圧縮、患者の負担軽減を実現できると期待されている。そうした取り組みの一環として、大型で高価な検査機器を導入できないクリニックに対して検査の代行を行なう連携検査や、入院中の患者をクリニックの医師が診察できる開放型病床を活用した主治医2名制度などを推進している。地域のクリニックと一体となって医療に取り組むために定例勉強会や懇親会を開催するという取り組みも行なわれているが、最も重要なのは徹底した情報共有だ。そのために生まれたのが、独自開発で構築された医療情報共有システム「エキサイネット」だった。エキサイネットでは、地域のクリニックから紹介されて来院、入院した患者の投薬歴や治療内容の退院サマリー、検体検査結果、CT・MRI等の放射線画像を閲覧でき、クリニックでの診療に役立てることができる。

患者の診療情報は言うまでもなく重要な個人情報であり、決して部外に漏らしてはならない。そうした重要な情報をオンラインで送受信するためエキサイネットではVPNサービスを利用していた。しかし院外のクリニックからアクセスするユーザのほとんどが高齢の医師であり、操作や設定が難しいという意見が寄せられていた。実際、接続できないとの問い合わせに対応するためクリニックに向くこともしばしばあったという。よりセキュアで使いやすい

アクセス環境を構築するため、名古屋掖済会病院では高度なセキュリティソリューションと利便性の高いアクセスルートについて模索していた。数あるソリューションの中からUSBトークンを選択した理由は、仕組みとしてPCスキルの低いユーザにも理解しやすく、IDやパスワード、URLといった記憶に頼る要素を少しでも減らしたかったためだ。USBトークンならPINコードを入力するだけで決められたサイトをブラウザで開き、ログインまで自動的に行なえる。情報管理センターの奥村氏は、以後の開発や保守を安心して依頼できるよう、自社でUSBトークンとPKI認証局(CA)を開発している企業を探し、ペンティオ社にコンタクトを取った。そこで要件を伝えてアドバイスをもらう中で、ペンティオ社のUSBトークン&CAと親和性が高く導入実績も多い、F5ネットワークス社のFirePassとの組み合わせを提案されたのだという。他社SSL VPN製品についても情報収集を行ない比較を行なったが、性能、保守への期待感ともにFirePassが上回っていたためにFirePassの採用が決定した。

## WebポータルとAppトネルの連携で 既存システムを移行

実際に構築されたシステムは、FirePassだけではなくPKI認証サーバまでもが冗長構成になっている。救命救急病院である以上、いつでもどこにもシステムが正常に稼働し、最高の治療を提供できるようにという病院の姿勢の表れだ。利用者は院内の医師が約50名、院外のクリニック約80箇所が登録されている。基本的には元々Webアプリケーションをベースとして構築されたエキサイネットをWebポータル機能を経由して利用する。一部、画

像の表示に市販アプリケーションを採用しており、すべてをWebポータルに移行することはできなかったが、Appトネル機能をブラウザからのリンクで呼び出し、違和感のない連携を実現している。導入時を振り返り、加藤氏はこう語る。「FirePassが柔軟な機能を持っていたので異なる混在するシステムをうまく移行でき、検査結果と画像を違和感なくリンクできました」

ここで参照できる画像は、レントゲンやCTスキャンなどの検査結果全般に及ぶ。すべての画像は検査後すぐにサーバに登録され、エキサイネット経由で確認できる。深夜など当直の医師しかいない時間帯の救急患者への対応時には院内の医師も自宅PCから検査結果画像を参照し、病院にかけつける前に電話で初期対応の指示を出せる。「これによって、担当医師の到着を待たずに初期対応や治療の準備を開始できます。救命救急においてはスピーディで的確な初期対応が重要です」

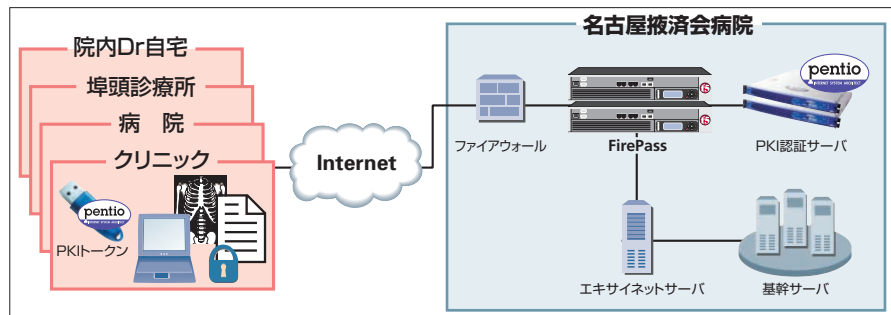
そう今井氏が語るように、FirePassの機能を連携して実現した画像表示が、医療現場に大きく貢献している。また、セキュリティへの不安が払拭されたことで開示する情報の幅も広げられ、より詳しい情報をクリニックから閲覧できるようになった。さらに、これまでのように名古屋掖済会病院からの一方的な開示だけでなく、クリニックでの診療情報をアップロードできるようになった。地域のクリニックにより広く浸透していけば患者の治療情報を一元管理できることになり、より適切で効率的な医療の施術につながるのではないかと期待が寄せられている。

## 治療にもセキュリティにも ベストを尽くす

独自にシステムを構築し、それをリファインし続けてきた名古屋掖済会病院は今後もエキサイネットを進化させ、地域医療の改善をますます発展させることを目指している。

「病院は命を預かる場所ですから、治療にもそれを支えるシステムの構築にも、常にベストを尽くさなくてはならないのです」

そう病院の信念を語る奥村氏の言葉は、セキュリティにおいても医療においても、向上的努力を絶やさないとこそ最良の手段であるということを支えながら力強かった。



### F5 ネットワークスジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ19階  
TEL: 03-5114-3210 FAX: 03-5114-3201

お問い合わせは F5 First Contact まで : [www.f5networks.co.jp/fc/](http://www.f5networks.co.jp/fc/)

©2006 F5 Networks, Inc. All rights reserved. F5, F5 Networks, F5のロゴ、および本文中に記載されている製品名は、米国および他の国におけるF5 Networks, Inc.の商標または登録商標です。  
●本文中に記載されている製品名、および社名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。

● PKI製品に関するお問い合わせは



### ペンティオ 株式会社

PKIソリューション事業部  
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-4 久保ビル3階  
TEL: 03-5919-0971 FAX: 03-5919-0980  
E-mail: [sales@pentio.com](mailto:sales@pentio.com)  
URL: <http://www.pentio.com/>